

交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第62号
VOL.62

八戸国際交流協会
Hachinohe International Relations Association

2018年8月発行
Published August 2018

漁師料理を体験しました！



平成30年6月10日（日）

第7回目となるジャパン・デー・イン・八戸を開催しました。

今回は、種差漁港での漁師料理体験と、八戸酒造での酒蔵見学を行いました。

生の魚やウニを触るのが初めての参加者もありましたが、種差漁港生産部会の漁師さんや「いさばのかっちゃん」の皆さんに教えて頂きながら、ヒラメの刺身作りやウニの殻剥きに挑戦しました！

→詳しい内容は、2ページをご覧ください。

交流するともっと
わかる世界のこと。



P2……… ジャパン・デー・イン・八戸
P3……… 外国人のための防災教室
P4～5 …… 八戸学院大学の国際交流活動
P6～7 …… 世界で活躍する八戸ゆかりの人

P8～9… 国際交流員マッシュのコーナー
P10……… 八戸高専 モンゴルからの留学生紹介
P11……… HIRA からのお知らせ
P12……… 外国人住民用「ほっとスルメール」

会員数 個人 161 団体 59

（平成30年8月現在）



ジャパン・デー・イン・八戸

～漁師料理体験と酒蔵見学～



平成30年6月10日(日)、今年で7回目となる「ジャパン・デー・イン・八戸」を開催しました。今回は、種差漁業生産部会さんと八戸酒造さんのご協力を得て、漁師料理体験と酒蔵見学を行いました。イベントには、外国人36名と日本人2名の計38名、7カ国の方が参加。英語と中国語の通訳を交えながら、漁師さんから八戸の漁に関するお話を聞いたり、酒蔵では日本酒が出来るまでの工程を学んだり、貴重な経験ができました。

種差海岸をトレッキング

まずは、種差海岸インフォメーションセンターから種差漁港までの道をトレッキングです。途中、小さい川を飛び越えなければならない場所があり、参加者は川に落ちないように慎重に渡っていました。天気はあいにくの曇りでしたが、種差の海や芝生などの自然を感じながら楽しく歩きました。



慎重に…



ゴール!!

漁師料理体験スタート!



ういの殻剥き。
1番人気のブースでした。



ひらめ、うまくさばけるかな?



「アイナメ」「ソイ」「どんこ」
「平がに」が入った豪華鍋!



焼きサバ入り巻き寿司。
おいしかった～!

種差漁港に到着したら、漁師料理体験のスタートです。

「ういの殻剥き」「巻き寿司作り」「刺身作り」「漁師鍋作り」の4つのブースに分かれて体験をしました。参加者は初めて触る魚介類におそろおそろ調理していましたが、慣れてくると上手に魚をさばっていました。調理が終わると食事タイム。種差漁港の漁師さんのお話を聞きながら、自分達で作った漁師メシに舌鼓をうっていました。「巻き寿司がおいしい!もっと食べたい!!」とおかわりを狙っている人も…?種差漁港生産部会のみなさん、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました!



酒蔵見学

八戸酒造では、日本酒を作る施設を見学した後、日本酒ができるまでの工程をビデオで学びました。八戸酒造の宮本総務部長から、1つ1つの工程について詳しくお話していただき、参加者は真剣に聞き入っていました。見学の最後は「さぁ飲むぞ!」という宮本さんのかけ声で、お待ちかねの試飲タイムに突入!八戸酒造さんのご好意で、なんと6種類ものお酒を用意していただきました。中には、名前やラベルも決まっていない未発表のお酒もあり、真っ先にビンが空になっていました。参加者は、お土産の日本酒も買えて大満足!八戸酒造さん、ありがとうございました!



八戸酒造さん
自慢のお酒



杯を交わす
のんべえたち

☆今回の写真は、八戸国際交流協会のホームページやFacebookにも掲載しておりますので、そちらもぜひご覧下さい。



外国人のための防災教室



平成30年6月19日(火)、八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部、NPO法人みちのく国際日本語教育センター(MIJEC)との共催で、外国人のための防災教室を開催しました。

日本語教室の生徒さんや市内の外国語指導助手(ALT)、漁業技能実習生など、合わせて72名が参加し、「防災講座」「防災ゲーム」「初期消火訓練」「起震車体験」などを行いました。

【防災講座】 八戸市防災危機管理課の大島さんを講師に迎え、「地震・津波・火事」が起きた時にどうしたらいいのか教えてもらいました。



講座の様子
(英語と中国語の通訳もありました)



通訳を交えた三者間通話による
119番通報体験

【非常食を食べてみよう！】

ミドリ安全青森株式会社様から提供して頂いた非常食を試食しました。



お米やパスタなど13種類

【初期消火訓練】 水消火器を使つて的(火元)を狙う訓練を行いました。



火元をよーく狙って…



火事だー!と叫んで消火開始

【起震車体験】

東日本大震災などが再現でき、最大震度7までの揺れが体験できます。



テーブルの下に隠れるのも一苦労

【防災ゲーム】 避難グッズ選びゲームと、応急処置コンテストを行いました。優勝チームはどこかな？



どのグッズを持って逃げよう？



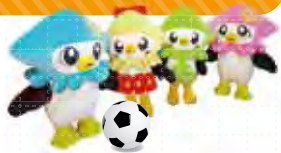
チームごとに発表!判定は…?



雑誌やビニール袋など
身近なものを使って応急処置



言葉や文化の違う場所で、災害に遭うのはとても不安なことです。近くに外国人の方が住んでいるのを見かけたら、普段から声をかけ、いざという時にも助け合える関係を築いておきましょう。



八戸学院大学の国際交流活動



人間健康学科4年 野中麻衣さん（上写真 右）

Q. 交流している三沢基地のサッカーチームのレベルはどうですか？

A.三沢の皆さんはそれぞれレベルの差がありますが、長身や、フィジカルの強さ、スピードなどポテンシャルの部分で高い能力を持ち、圧倒される部分も多くありました。一方私達は、スピードなどで劣る分、細かいパス回しなどがシュートにつながる場面が多くあったように思います。

Q. サッカー交流で楽しいことは？

A.試合の合間には、三沢の皆さんが用意してくださったカラフルなドーナツや大きなピザ、独特な味の炭酸飲料などを、みんなで飲んだり食べたりしながら、楽しい休み時間を過ごしています。



サッカー部 畑中監督（下写真 後列左から2番目）

サッカー教室ではまず、三沢の皆さんと八戸学院大学女子サッカー部の混成グループを作ります。このグループの部員及び基地の方が互いに先生役となって、英語・日本語での挨拶や、自己紹介をし合い、仲良くなります。その後、ボールを使っのミニサッカーを楽しみます。

シーズンオフにしかこのような交流イベントはできませんが、これができるのも、女子サッカー部の普段からの交流のおかげだと思います。



■八戸学院大学 女子サッカー部

八戸学院大学女子サッカー部は、以前から米軍三沢基地のサッカーチームとサッカーを通じて交流を行っており、その一環として、英語でサッカーを楽しむ「サッカー教室」を開催しています。今回は、このサッカー部の国際交流活動について紹介します。



Q. 試合中のエピソードを紹介してください

A.試合中、三沢の皆さんが一生懸命日本語で話しかけてくれたので、お互い楽しくコミュニケーションをとることが出来ました。ぶつかって学生が倒れてしまった時も、優しく起こしてくれました。人としても、スポーツマンとしても、すごく素敵な皆さんだと思いました。



■外国人向けアプリ “Hachinohe Info”の配信開始 !!

八戸学院大学 バリー・グロスマン教授が指導するグローバル英語ゼミでは、平成26年から、八戸市及びその近隣に住む外国人や外国人旅行者へ、三八地域の情報を提供する手段として、外国人向けアプリ“Hachinohe Info” (ios対応)の開発を開始。2020年、東京オリンピックまでに全700施設の情報を掲載すべく、情報の収集と更新を続けています。



“Hachinohe Info” は、あくまでも各施設・店舗のホームページへ導くための入り口の役割を目指しています。したがって、このアプリに掲載している情報は、店舗・施設名、住所、連絡先、地図上での位置情報です。

このアプリの基本的な仕組みは、先輩達が作り上げていったので、現在は、ゼミの学生一人当たり月10件の情報を収集し、それらを英語に翻訳。



同学部の村本教授および玉樹教授の協力で、GPS上に表示できるようにして配信しています。

アプリの開発段階から関わっている学生は、「当初は日本語情報を英語に翻訳するのにとても時間がかかりました。例えば、他所から来た学生が地域名を読めなかったりもしました。また、八戸市を“Hachinohe City”、階上町を“Hashikami Town”と訳しても、GPSの情報として受け付けてもらえず、結局は“Hachinohe shi”、“Hashikami chou”と固有名詞化すればOKなことが分かったりなど、苦労しました。でもそのおかげで、英語に関心を持つようになりました。」と話していました。

学生達は、開発にかかる予算や時間に限りがあるため、掲載する店舗や施設の方々と直接会って情報を得る方法ではなく、情報誌等から必要に応じて情報収集をする方法をとっています。もし、各店舗や施設の方々と直接会うことで、現地での英語表記にも協力いただけたら、外国人にとってこのアプリの有効性が更に認識されるのではないのでしょうか。

App Storeプレビュー



iPhoneスクリーンショット



バリー・グロスマン教授は、「このアプリ上ではそこまで対応できないが、各店舗・施設のオーナーから、英語版ウェブサイト作成の要望があれば、このゼミを活用し、学生と共に作成する事は可能です。」と話していました。

★英語版ウェブサイト作成の要望があればトライしたいとのことですので、関心のある方は下記に連絡してみてください。

バリー・グロスマン(Barry Grossman)
E-mail: grossman@hachinohe-u.ac.jp
電話: 0178-25-2711

世界で活躍する 八戸ゆかりの人



さ さ き けん いつ
佐々木 健逸さん

ここでは、世界で活躍している八戸出身者をご紹介します。

今回は、第61号の八戸工業高等専門学校国際交流センター長の阿部恵さんからの紹介で、八戸高専卒、現在は日本の航空会社でパイロットになるための訓練を受けている佐々木健逸さんです。

■私の仕事

私は現在、日本の航空会社で副操縦士になるための訓練を受けています。

私の会社は、国内線・国際線を含め様々な都市に就航しており、非常に多くのお客様にご利用頂いています。国際線において機内アナウンスをさせて頂く際、就航する国の言語でアナウンスすることが訓練中の目標の一つです。

日本国内の都市と都市、日本と海外の国を行き来する全ての方々に安心して利用頂き、また利用したいと思って頂けるような運航を行うことが私の仕事です。



左が私です

■留学について

私が海外に関心を抱いたのは中学生になった頃でした。小さい頃から通っていた英語教室で、オーストラリアのシドニーへ10日間のホームステイに参加しないかと誘われ、すぐに行くことを決断しました。理由は飛行機に乗れるという安易な動機でした。初のホームステイでは、中国、フィリピンから来た年上の留学生と同じホストファミリーのお家でお世話になりました。初めての外国の方との会話は全然できませんでした。耳も慣れていなければ口も慣れておらず、日常会話すら必死でした。しかし、シドニーで出会った方々は私が片言で話す内容を頑張って聞こうとしてくれ、助言や冗談を返してくれるような優しい方々でした。この経験がきっかけで、海外で働いたり、留学するということに抵抗を感じなくなりました。

■アメリカでパイロットの免許



大学の卒業式で

私は、八戸工業高等専門学校で化学を学び、卒業後は小さい頃からの夢だったパイロットになりたいと思っていました。しかし、パイロットの養成校である航空大学校の入学試験は、視力が入学基準ぎりぎりだったため不合格となり、アメリカの大学で免許を取ることにしました。大学はセントラルミズーリ州立大学、航空学部プロフェッショナルパイロット科に編入しました。日本人はさほど多くはなく、アメリカの方以外にも台湾、中国、韓国、中東から来た留学生とルームシェアをしていました。普段はお酒を嗜みながら、朝まで日韓、日中問題や日米問題など、若者なりの意見交換をしたり、自分の夢や男性同士ならではの話題で盛り上がるが多かったです。

このような経験を通じて、自分なりに日常会話のスキルを上げて行く

とともに、より深い話ができるようになると、民族の壁を超えて相手と分かり合える事に改めて気付かされました。

留学中に会った方々は、私の大切な友人となり、今でも連絡を取り合っています。ある友人は、私が航空会社に就職できたことを祝ってくれ、以前台湾へ初フライトの際には、私の便の写真を撮ってくれました。みんな私のかけがえのない、一生の友人になりました。



はさまれているのが私

■メッセージ



英語ができなくて悩んでいる方、留学しようか迷っている方、動機やきっかけはなんでもいいと思います。一歩前に踏み出してみることが、自分を成長させてくれます。

そこからしか見えない景色を楽しんで、失敗を糧にして、次の生き方に繋げて行ってみて下さい。応援しています。

国際交流員(CIR) マシューのコーナー!

最終回



～英語で八戸の魅力をアピールしよう!～

One of the greatest things about living in a wonderful place like Hachinohe is being able to introduce it to new friends and visitors! The differences in languages, culture, and the unique features of the Nambu area can sometimes make it hard to express everything you want to tell friends that are visiting or new acquaintances, but with a little perseverance and some key phrases, it can go great. There is a lot of food, culture, and history to be proud of in Hachinohe, so try hard and have fun making new friends and have new conversations!

私が八戸に住んでいて良かったなと思うことの1つに、この町の素晴らしさを友人や訪問者へ紹介できることがある。言葉や文化の違いなど、南部地方独自の特徴が壁となり、伝えたいことの全てを伝えるのは難しいが、ほんのちょっとの根気と、いくつかのキーフレーズを覚えておけば、必ずうまくいくと思う。八戸には、誇るべき食べ物や文化、歴史がたくさんあるのだから、新しい友達を作り、会話することを楽しみながら頑張ろう。

First thing is first, and if you are talking to someone new you should introduce yourself. Most people know the phrase

まず、人と初めて会う時には、自己紹介が必要だ。ほとんどの人は、次のフレーズを知っていると思う：

●“Hello, my name is…”

これは完璧な表現だけど：

●“Hi, I’m…”

いうフレーズもよく使われていて、もっと発音がしやすい。



Works perfectly as well, but really the best thing to remember is to speak clearly and slowly so your partner can hear you. Some people start with a clear introduction, but when they get to their own name, because it is in their own language, they say it too quickly, and it makes it hard to hear.

でも、何よりも大事なことは、相手に聞こえるように、はっきり、ゆっくり言うことだ。せっかく上手に自己紹介をしても、自分の名前の部分になると、母国語が故に早口で言ってしまい、相手に分かりにくくなってしまうことがある。

Next, let’s talk about everyone (well, at least my) favorite subject: food. Hachinohe is known for its seafood, but it also has some great produce too! Let’s take a look at some useful phrases:

次は、皆さんの（あ、少なくとも私の）一番好きなトピック『食べ物』について話そう。八戸は魚介類で有名だけど、農作物もとても美味しい。

役立つ表現をいくつか見ていこう：

●This is called hoya in Japanese; it’s a type of seafood.

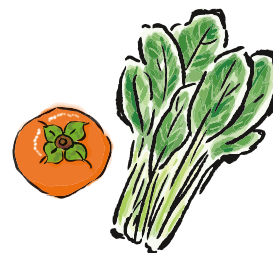
これは日本語で「ホヤ」と呼ばれている。シーフードの一種だ。

●This is called kaki in Japanese; it’s a type of fruit, but taste a bit like a carrot.

これは日本語で「柿」と呼ばれている。果物の一種だが、少しニンジンに似た味がする。

●This is called komatsuna in Japanese; it’s a type of vegetables that tastes like spinach.

これは日本語で小松菜と呼ばれている。野菜の一種で、ホウレンソウに似た味がする。



There are so many vegetables, fruits, and fish, that remembering all of the names in English is hard. Also some Japanese foods have English names, but most people are not familiar with them (hoya = sea pineapple / hokke = Okhotsk atka mackerel). Instead saying the Japanese name verrryyy slowly, what type of food it is, and what it taste like is easier and helpful.

野菜や果物、魚の種類は本当にいっぱいあるので、英語の名前を全て覚えることは難しい。英語の名前があっても、一般人にはあまり通じない食べ物もある（例：ホヤは英語でsea pineapple、ホッケはOkhotsk atka mackerelだけど、一般人には全く通じない）。

代わりに、日本語の名前をゆ〜っくり伝えて、どんな食べ物か、どんな味がするか、といった情報を教えてあげる方が、より簡単で通じやすくなる。

Often visitors ask what I recommend doing or buy in Hachinohe, so I often use phrases like:

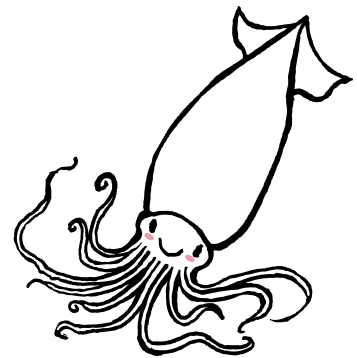
八戸を訪れる人々に、よく「何をするのがおすすめ?」「お土産は何を買えばいい?」といった質問をされるが、その時は以下のようなフレーズを使っている：

●I recommended going to the Tanesashi Coast.

種差海岸に行くことをお勧めするよ。

●The squid is very good in Hachinohe, so try it while you are here.

八戸のイカはとても美味しいから、居る間に食べてみてね。



When they ask: Where can I buy souvenirs? I respond with:

お土産はどこで買える?と聞かれた時は、次のように答える：

●The store on the first floor at Hacchi or You tree by the Hachinohe station has a lot of souvenirs.

はっちの1階にある店や、八戸駅の近くにあるユートリーにはお土産がたくさんあるよ。

When they ask things like:

このような質問をされた時：

●How do I get to Hacchi ?/How do I get to Kabushima?

はっちにはどうやって行けばいい?/蕪島への行き方は?

Useful phrases include:

役立つフレーズは：

●Go straight, and then turn right at the light.

真っ直ぐ行って、信号を右に曲がってください。

●Get on the one-coin bus “Umineko” and get off at Kabushima-Kaihin Koen.

ワンコインバス「うみねこ号」に乗って「蕪島海浜公園」で降りてください。



私は、8月2日で国際交流員（CIR）としての任期を終えます。

皆さん、今まで本当にありがとうございました！
これからも、八戸の町と人々が大好きです！

If you talk to foreign residents or visitors, I am sure they will be very happy, and say “thank you!” And although a nice “You’re Welcome” is perfect, try “No problem,” or “No worries,” too! These phrases sound natural and fun!

在住外国人や観光客に声をかけたら、相手は間違いなく嬉しくなって、“Thank you!” と言うだろう。“You’re Welcome” でも十分だが、より自然な表現として、“No Problem” や “No worries” も使ってみよう!



八戸高専 モンゴルからの留学生紹介



八戸工業高等専門学校は、専門技術の修得を目的として海外からやってくる留学生を毎年受け入れています。

今回は、モンゴル政府派遣の留学生ダムツァグドルジ バンディニャムさんをご紹介します。

バニャさん(愛称)に、八戸での留学生活についてインタビューしました。



ダムツァグドルジ バンディニャムさん
(21歳)

モンゴル出身
八戸工業高等専門学校 電気情報工学科 5年

日本に来て大変だったこと

もうすぐ八戸に住んで2年になります。今は、日本にだいぶ慣れてきて海外にいる感じはあまりしません。日本は私にとって初めての海外です。私の見た目は日本人とあまり変わらないので、皆さん日本人だと思って話しかけてきます。学校のクラスメイトや先生は、最初から外国人だと分かっているので優しくしてくれました。でも、学校から出ると状況が全く違います。買い物や外食をするとき、お店で日本人と見なされ、早口で声を掛けられたことがありました。「ポイントカードはお持ちですか」という店員さんの質問が聞き取れず、何度も聞き返したこともあります。でも、「すみません、もう一度お願いします」と言うと、皆さん面倒くさがらずにまた言ってくれます。それでも分からない時は「優しい日本語をお願いします」と言ったこともありましたが、今は、どんな早口の言葉でも聞き取れるようになりました。



外国人同士の交流について



日本に来てから、意外にも外国人の友達ことができました。今年度、八戸高専には長期留学生が10名います。みちのく国際日本語教育センターが開講している日本語講座にも毎週行っています。外国人の友達とよく一緒に外食をしますが、見た目が日本人に似ていることもあり、店員さんは最初に私に注文を聞いてくることが多いです(笑)

八戸での生活について

八戸は外国人に優しい環境だと思います。モンゴル人と聞いて、お相撲さんについて色々話してくれる優しいおじいちゃん、おばあちゃんがいます。八戸の天気は涼しくて、モンゴルと似ている点もとてもよかったです。

週末は、市内のうどん屋でアルバイトをしています。いつも忙しいけど、うどん屋の優しいおねえさん達のおかげで楽しく働いています。お客さんの「ごちそうさまでした」の一言に、日本人のやさしさを感じてほっとします。皆さん、これからもよろしくお願いします!





HIRAからのお知らせ

第8回 国際交流フェスタinはちのへ 開催！

「国際交流フェスタ inはちのへ」は、韓国や中国、フィリピンなど様々な国の文化に触れることができるイベントです。外国人のみなさんと気軽にしゃべりを楽しみましょう。入場無料なので、みなさん是非遊びに来てください！

日 時：9月9日(日)午後1時～午後4時
場 所：八戸ポータルミュージアム はっち 1階 はっちひろば 他
内 容：■外国人とおしゃべりコーナー
■ステージパフォーマンス
(英語ガイドデモンストレーションなど)
■市内大学・高校の国際交流活動パネル展示
■抹茶・中国茶体験 など



外国人のための日本語講座

八戸国際交流協会では、NPO法人みちのく国際日本語教育センターに委託して、外国人のための日本語講座を開講しています。会話を楽しみながら、日本語を学びましょう。

日 程：平成30年9月4日～平成31年3月12日の毎週火曜日
時 間：午後6時30分～午後8時30分
場 所：八戸市福祉公民館(類家)
対 象：八戸市近郊在住の外国人(レベル別のクラスに分かれます)
受講料：時期により異なるのでお問い合わせください。

【お問合せ】

NPO法人 みちのく国際日本語教育センター
馬 場 080-6051-3109
npo-mijec@ezweb.ne.jp
あけびやま 080-6026-3109
明日山 michinokunihongo@gmail.com

八戸国際交流協会 会員及び準会員募集！

八戸国際交流協会の会員及び準会員※を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会の推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年 会 費 【個人】1口 2,000円 【団体】1口 10,000円
会員の特典 ■協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。

- 協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。
- 協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等の特典があります。

※準会員は高校生を対象とした無料の会員制度です。詳しくは協会HPをご覧ください。

八戸国際交流協会ボランティア募集！

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、18歳以上で、次に掲げる条件を満たす方です。

- 条 件 1)八戸市内に住所を有する方
(市内の事業所及び大学に通勤通学している方を含む。)
2)国際交流に対する理解及び熱意がある方

- 活動内容 ■通訳
■翻訳
■ホームステイ、ホームビジット受入れ
■英語ツアーガイドなど

ヒッポファミリークラブ

(英語はもちろん、いくつものことばを楽しみながら、話せるようになりたいと思いませんか？)

「八戸会場のご案内」お気軽にどうぞ!!

- 水曜日 15時半～17時 南部会館
- 金曜日 18時半～20時半 南部会館
- 土曜日 18時～20時 ユートリー
- 火曜日 18時半～20時 中居コミュニティセンター
- その他午前中も随時開催

<お申し込み・お問い合わせ>
言語交流研究所ヒッポファミリークラブ
☎ 0120-557-761



カメイ歯科

八戸市六日町23(コンサートホールとなり)
TEL 0178-22-0707

診療時間 平日 10:00～14:00 15:00～19:00
土曜 10:00～14:00

- ・六日町パーキング券 を差し上げております。
- ・共通駐車券

八戸市からのお知らせ

外国人のための「ほっとスルメール」

Disaster Prevention Information Email

in English and Easy Japanese

「ほっとスルメール」とは、安全・安心に関係することについて、けいたい電話やパソコンのEメールに英語・やさしい日本語(※)でれんらくするものです。

※やさしい日本語とは、ふつうの日本語よりかんたんでわかりやすいことばです。

Hotto Suru Email is a service that sends out disaster and safety information to cell-phone and PC email addresses. Services are available in English and Easy Japanese.

*Simple Japanese: Japanese that is simpler than standard Japanese that is easy for foreign residents to understand.



登録料

お金はかかりません。0円です。

れんらくすること

- ① 津波のおしらせ 日本語、英語、やさしい日本語で連絡します。
津波(高い波)がくること、津波(高い波)からの逃げ方
- ② 緊急のおしらせ 英語・やさしい日本語のどちらかを選べます。
台風・地震が起きたこと、逃げるところ
- ③ ライフラインのおしらせ 英語・やさしい日本語のどちらかを選べます。
電気・ガス・水道の事故のこと

申込み/登録

れんらくがほしい人は、ホームページから申込み/登録してください。

http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/22_56363_78.html#Applicationform

★ほっとスルメール申込み➡



Cost

Registration and information services are free.
However, telecommunication fees remain.

Information Sent

- ① Tsunami Information available in Japanese, Easy Japanese and English
tsunami advisories / warnings, evacuation information
- ② Emergency Information available in English or Easy Japanese
earthquakes, typhoons, evacuation advisories / warnings, the opening and location of evacuation centers
- ③ Lifeline Information available in English or Easy Japanese
problems with electricity, gas and water

How to Register

For those who would like to register, please access the following website and submit the online registration form.

http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/22_56363_78.html#Applicationform

★Online registration form➡



れんらくさき Contact Information

八戸市 市民連携推進課 国際交流グループ
Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
〒031-8686 Hachinohe Uchimaru 1-1-1

TEL 43-9257 FAX 47-1485 E-mail renkei@city.hachinohe.aomori.jp

外国人の
お友達にも
教えてあげてね!



こかぶくん



編集後記

りんぐりんの発行回数が、今年から年2回に変更となりました。機関紙での情報提供の間隔が長くなるのは残念ですが、その代わり協会Facebook(フェイスブック)での情報発信が始まっています。Facebookでは“いいね”マークなどで、提供した情報を見られている、という実感が湧きます。

八戸市でも外国人訪問者数が年々多くなり、市民との交流の機会も増えると思います。今年度も、国際交流に関する様々な情報を、機関紙およびFacebookで紹介していきます。ぜひチェックしてくださいね!

f いいね!



編集スタッフ

編集長: 川崎 康一

編集員: 亀井 圭子 田頭 順子 松田 朋恵



宗石 美佐 小笠原 勇太 阿部 静香

マッシュー・ボラ 関川 佳子 大山 詩織

発行・お申込・お問合わせ:

八戸国際交流協会 (八戸市市民連携推進課内)

〒031-8686 八戸市内丸1-1-1

TEL 0178-43-9257 FAX 0178-47-1485

E-mail info@hachinohe-hira.jp

<http://hachinohe-hira.jp>

印刷: 新光印刷株式会社

〒031-0813 八戸市新井田字鷹清水9-11

TEL 0178-34-5331 FAX 0178-34-6078